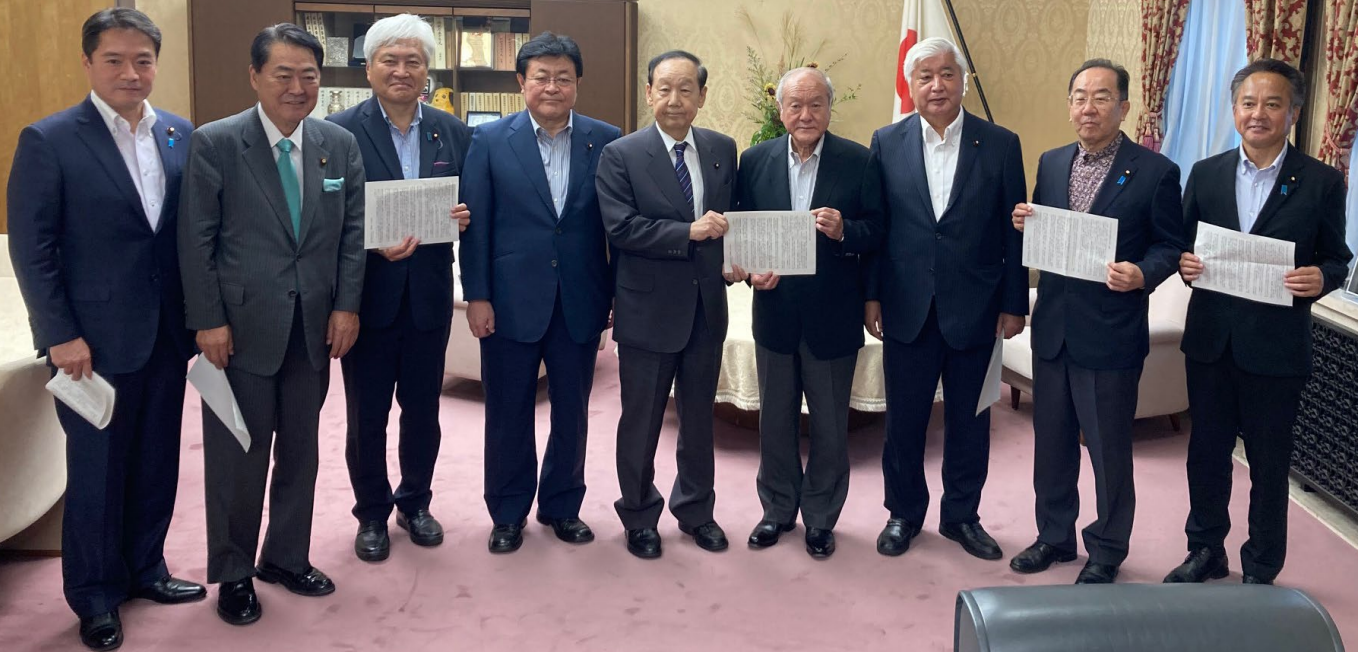


# 森林整備・治山事業促進議員連盟

## 鈴木俊一 財務大臣への要望

(9月11日(水) 14:00~14:15 財務大臣室)

山口会長はじめ  
国会議員9名



### 【出席議員】

山口 俊一 議員、中谷 元 議員、西村 明宏 議員、務台 俊介 議員、西銘 恒三郎 議員  
尾崎 正直 議員、井林 辰憲 議員、石原 正敬 議員、牧野 たかお 議員 (9名)

# 森林整備・治山事業促進議員連盟 総会 9.11速報版

(令和6年8月29日 @衆議院第1議員会館 多目的ホール)

(財務大臣申入れ：9月11日 @財務大臣室)

## 1 開催主旨

森林整備・治山事業促進議員連盟

昨今の激甚な災害の発生に対し、国民のいのちと暮らしを守る「緑の国土強靱化」をはじめ、林業の安定的・持続的な発展やカーボンニュートラル等の実現、さらに、国産材安定供給体制の確保や花粉発生源対策の加速化等に向け、森林整備・治山対策の推進は不可欠。林野公共事業に係る令和7年度当初予算等の確保に向け全力でこれに取り組む必要があるため、森林整備・治山事業促進議員連盟において総会を開催。

2 日 時 令和6年8月29日 (木) 14:00~15:00

3 場 所 衆議院第1議員会館 多目的ホール

4 出席議員 山口俊一議連会長はじめ **国会議員36名**(代理出席含め **約81名**)

5 出席団体 ○ (一社) 日本治山治水協会 ○ (一社) 全国森林土木建設業協会  
○ (一社) 日本林業土木連合協会 ○ 全国森林組合連合会

## 6 概要

山口俊一議連会長の挨拶の後、中谷林政対策委員長からの激励の言葉。山藤 全国森林土木建設業協会会長、新谷 日本林業土木連合協会会長、飛山 全国森林組合連合会常務理事から要望陳述。

議連会員との活発な議論や意見交換等を踏まえ、決議文を採択し、盛会のうちに終了。

※9月11日、山口会長はじめ議連の国会議員により鈴木財務大臣に対し、決議文を手交。

## ◆総会の様子(決議文の採択等)◆



山口会長

中谷  
林政対策委員長

田村幹事長

### 【山口会長ご発言】

本年も全国各地で災害が多発しており、今日は台風が猛威を振るっている。安全・安心な地域社会、地方の活性化につながるよう、また、森林・林業が元気になるよう、皆さんと一緒に頑張っていききたい。5か年加速化対策後の国土強靱化予算も協力してしっかりと勝ち取りたい。

## 現場の声

今年も地震や大雨等により各地で甚大な被害が発生。これら激甚化する山地災害への対応に加え、森林吸収源対策や木材の安定供給等に向け、森林整備・治山事業による緑の国土強靱化や資源の循環利用の推進が重要。

地域の要望に応えるための十分な予算確保に向け、引き続き先生方の強力なご支援をお願いするとともに、我々も地域の安全・安心の担い手、雇用の受皿としての役割を担っていく所存。



山藤会長  
(全森建)



新谷会長  
(林土連)



飛山常務理事  
(全森連)

## 決議に向けた議論の様子



西村事務局長

武村  
農林水産副大臣

舞立  
農林水産大臣政務官

# 令和七年度 林野公共事業予算に関する決議

我が国は、地形が急峻で、地震や火山活動も活発であり、梅雨や台風時期の豪雨等により、災害を受けやすい宿命を負っている。特に、近年では、地球温暖化の影響により、線状降水帯の発生等による山腹崩壊等の被害が多発している。本年も、一月の能登半島地震前線により多数の山地災害が発生するとともに、7月には秋田県、山形県を中心とした梅雨前線豪雨等で多数の山地災害が発生した。

これから台風期を迎える中、こうしたリスクへの対処は待ったなしの状況にある。国民の安全・安心な暮らしを実現するため、復旧対策はもとより、事前防災・減災をはじめ、森林整備・治山対策による緑の国土強靱化を一層強力に推進していかねばならない。

あわせて、二〇五〇年カーボンニュートラルの実現や、我が国の社会問題とも言われる花粉症への対応も含め、「伐って、使って、植える」森林資源の循環利用を確立する必要がある。このためには、林野公共事業の強力な推進が重要である。

このような中、令和六年度においては、当初及び補正予算で平成二十一年度の当初予算水準である二千六億円を超える予算を確保したものの、資材高騰や賃上げの状況下においても事業量をしっかりと確保するためには、前年度を超える十分な予算措置が必要である。

以上を踏まえ、森林整備・治山事業促進議員連盟は、林野公共事業予算について、必要な予算を当初予算で安定的に措置すべく、財政当局をはじめとする政府に対し次の項目について特に強く要望する。

一、能登半島地震や近年の豪雨等による被害を受けた荒廃山地の復旧対策を着実に進めるとともに、事前防災・減災対策を含め、山地災害で得られた教訓等を踏まえた治山対策を強力に進めるため、治山事業予算の拡充を図ること。

一、森林資源の循環利用を確立し、花粉症に関する関係閣僚会議において策定された「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の加速化にも資するよう、強靱で災害に強い林道の整備、主伐後の確実な再造林や間伐等を強力に推進するため、森林整備事業予算の拡充を図ること。

一、災害から国民の生命と財産を守っていくため、「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」に基づく森林整備・治山対策の加速化・深化を図っていく必要があることから、引き続き所要の予算を別枠で確実に確保すること。また、「五か年加速化対策」に続く「国土強靱化実施中期計画」を令和六年内の早期に策定し、資材高騰や人件費増に対応した十分な予算を確保した上で、森林整備・治山対策を切れ目なく計画的かつ着実に推進すること。

一、大規模災害が発生した際の体制強化や現場での予防・復旧対策の確実な実施等のため、森林管理局等における現場技術を有する人材の育成・確保を図ること。また、施工条件の特性等を踏まえた歩掛の見直しや適正な工期の設定など、林野公共事業の円滑な実施に向けた取組を推進すること。

一、林野公共事業の推進を通じた山村地域の振興を図るとともに、機械、資源情報など生産基盤の確保、人材育成など担い手の確保、若者・高齢者等にも働きやすく、安全で魅力ある産業となるためのスマート林業の展開を推進すること。

一、森林環境譲与税は、森林整備を一層推進するため、令和六年度から私有人工林面積の譲与割合を十分の五から百分の五十五に見直されたところであるが、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応するものであることから、既存の財源の代替とならないようにするとともに、引き続き、林野公共事業予算がめり込むことのないようにすること。

右、決議する。

令和六年八月二十九日

自由民主党 森林整備・治山事業促進議員連盟